

機能性フィラーを無溶剤で分散する技術

カーボンナノチューブ配合 紫外線(UV)硬化性コーティング剤

無溶剤型 CNT モノマー・オリゴマー分散体を利用して、コーティング剤やインキでの設計も可能です。

導電性 UV 粘着剤

- 「導電性 × 粘着力」を両立したCNT含有のUV硬化型粘着剤です。
- 粘着剤への導電性付与や剥離帯電の解消に貢献できます。
- 粘度や粘着力、抵抗率の調整などカスタマイズ可能です。



高導電タイプ

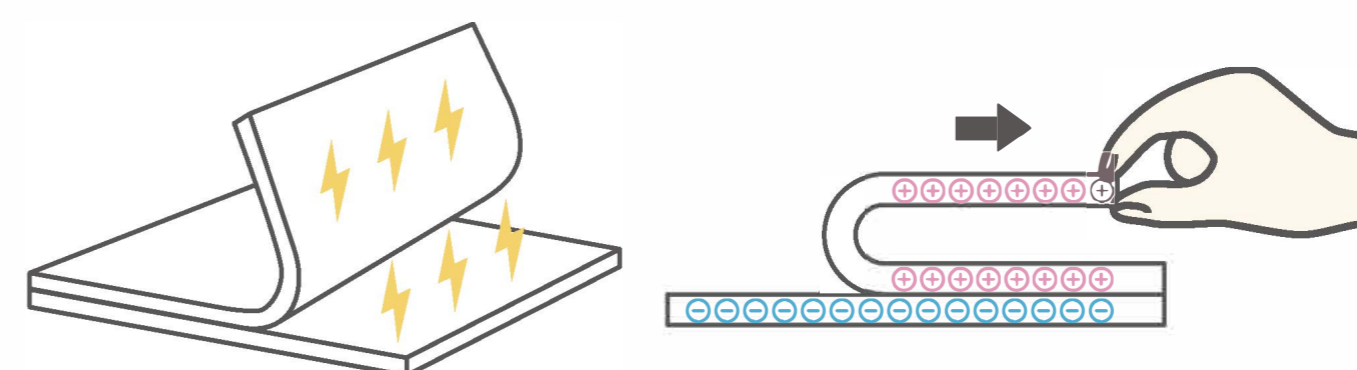


開発品 当社従来品

評価項目	高導電タイプ	高透明タイプ
粘度 (mPa・s/25℃)	15,000	15,000
表面抵抗率 (Ω/□)	1.0E+06	1.0E+09
全光線透過率 (%)	53.4	83.5
ヘイズ値 (%)	5.0	1.2
粘着力 (N/25mm)	/ PC	45.2
	/ ガラス	33.3
耐アウトガス性 (65℃/95%RH)	PC / PC	○
	PC / ガラス	○

※硬化後の膜厚が 50μm となるように塗工後、照射線量 600mJ の条件で硬化

剥離帯電 イメージ図



帯電防止性建材用トップコート

- 長期環境試験後でも帯電防止性能を保持できます。
- 床材としての機械的強度や耐久性を考慮した設計です。
- 病院・精密機器工場など静電気忌避が求められる環境にも適用できます。



イメージ図



開発品 基材のみ

評価項目	開発品	比較例	
物性評価	帯電防止剤	SWCNT	
	粘度 (mPa・s/25℃)	400	界面活性剤 350
	膜厚 (μm)	20	20
	表面抵抗率 (Ω/□)	1.0E+08	1.0E+10
インキ汚染試験	○	×	
85℃85%RH 24時間後	ブリード 表面抵抗率 (Ω/□)	なし 1.0E+08	あり 1.0E+13
85℃85%RH 1週間後	ブリード 表面抵抗率 (Ω/□)	なし 1.0E+08	あり 1.0E+15

※硬化後の膜厚が 20μm となるように塗工後、照射線量 600mJ の条件で硬化

帯電防止性ハードコート

- ハードコート性を維持しつつ、帯電防止性を付与したタイプです。
- 透明性が求められる分野を考慮した設計です。
- ハードコート～柔軟タイプの幅広い設計が可能です。



イメージ図



塗膜拡大写真

評価項目	開発品	
	基準条件	薄膜条件
帯電防止剤	SWCNT	
粘度 (mPa・s/25℃)	800	
TI 値	1.35	
膜厚 (μm)	20	10
基材	PET フィルム	PET フィルム
表面抵抗率 (Ω/□)	1.0E+09	1.0E+10
全光線透過率 (%)	81.6	88.3
鉛筆硬度	2H	H

※硬化後の膜厚が各条件となるように塗工後、照射線量 600mJ の条件で硬化

※本資料の物性データは特定条件下における当社評価結果であり、保証値ではありません。



Dainichiseika

大日精化工業株式会社

コート材事業部 sc6@daicolor.co.jp